

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/11/08号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

利食い売りで一時急落、80ドル割れでは押し目買い

NY原油先物相場は、1バレル=78.25~84.88ドルのレンジで上値の重い展開になった。10月末にかけて調整売りが膨らんでいたことで、週前半は85ドルの節目を試す堅調地合になっていた。しかし、その後は米原油在庫の増加報告などを手掛かりに改めて調整売りが膨らみ、80ドルの節目割れから10月7日以来の安値更新となる78.25ドルまで急落した。週末にかけては押し目買いが入り81ドル台前半まで切り返したことで高値圏を維持しているが、前週比では2.30ドル安となっている。

11月4日に石油輸出国機構 (OPEC) プラスの閣僚級会合が開催されたが、11月に続いて12月も日量40万バレルの減産規模縮小 (=増産) を行うことが合意された。米国など消費国からはより大規模な増産対応を求める声も強くなっていたが、OPECプラス内では今後の需要環境に対して慎重な見方が強く、増産ペース加速の必要性はないと判断されている。ただ、概ね想定されていた通りの結果とあって、マーケットインパクトは限定された。次回会合は12月2日に開催される。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (10月29日時点) は、原油が前週比429万バレル増、ガソリンが149万バレル減、石油精製品が216万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

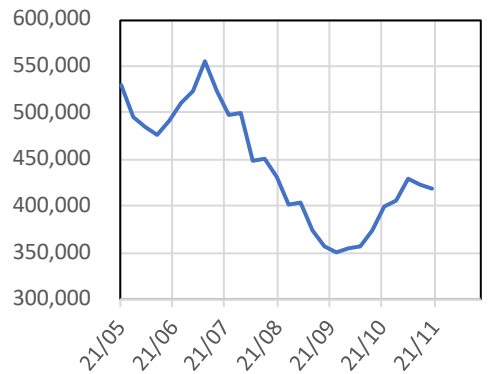
しばらくは高ボラティリティ環境も、需給ひっ迫見通しは維持

これまで過熱感を抱えた高騰相場が続いていたが、調整局面入りした。8月23日の61.74ドルをボトムに10月25日の85.41ドルまでほぼ一直線で上昇してきたが、85ドルの節目到達もあり、持ち高調整の動きが上値を圧迫している。このため、暫くは高ボラティリティの相場環境が続く可能性を想定しておく必要がある。これまでの上昇幅を考慮すれば、更に持ち高調整が進めば75ドル水準を打診する可能性まで想定しておく必要がある。一方で、需給ひっ迫見通しが大きな修正を迫られている訳ではなく、押し目での物色妙味は維持され易い。早めに地合が安定すれば85ドルトライの可能性もある。基調判断としては上向きの評価になるが、上下双方に大きめの値幅を想定したい。

OPECプラスが大規模増産を見送ったことで、年末に向けてはタイトな需給見通しが維持され易い。徐々に冬型の気象環境に移行していることで、在庫減少圧力が強まり易くなる。ただ注意が必要なのは、新型コロナウイルスの感染被害が欧州を中心に広がりを見せていることであり、改めて行動規制導入を進めるような動きが活発化すると、地合が急激に悪化する可能性は想定しておきたい。

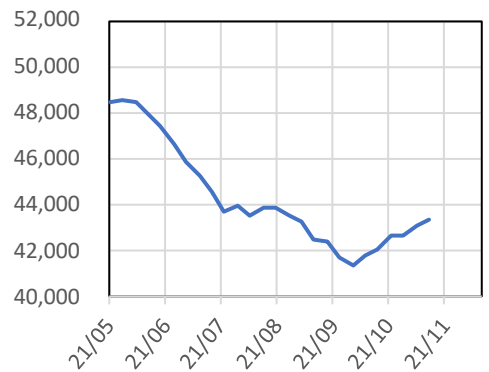
過去2週間は米原油在庫増加を手掛かりに調整売りが膨らんだことで、米原油在庫が3週連続の増加になった場合には、調整リスクが高まる。ただ、米原油在庫増加は製油所メンテナンスの季節要因の影響が大きく、例年の傾向だと、今後は徐々に在庫が圧迫される可能性が高い。一方、11日にはOPEC月報が公表される。ここで年末に向けての需給ひっ迫見通しが示される、OPECの増産能力の弱さなどが注目されると、早めに地合を引き締める可能性が高まる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



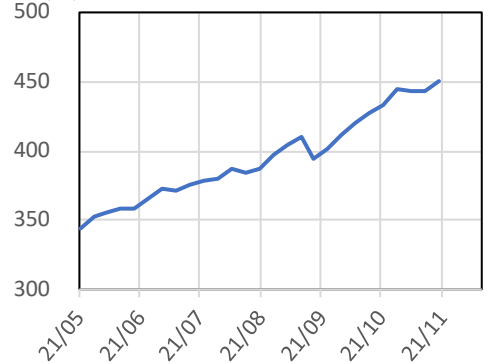
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

